

発行 廣田新聞店 横浜市青葉区市ヶ尾町1737

第70回新聞週間標語 『新聞で見分けるフェイク 知るファクト』

アートな人生! 歌えば楽しきまどいせん♪

65歳からのアートライフ 第一弾音楽劇「歌の地図・堀内敬三とともに」

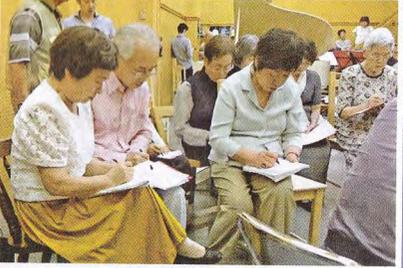


出演者全員で練習後に記念撮影。一番左が酒井沃子先生

「65歳からのアートライフ」は、出演者全員が65歳以上という音楽会。シニアコーラス四団体の指導をされている声楽家の酒井沃子先生が「みんなの発表の場、大きな機会を作ろう」と、2003年にNPO法人として立ち上げた。青葉台のフィリアホールで年二回コンサートを開催。ステージに立った延べ人数は1400人を数え、今年二月には、15周年の特別コンサートが開かれた。

「感動こそ生きる喜び」
「青春とは人生のある期間をいうのではなく、心のあり方のことをいう。…(中略)歳月は肌にしわを刻むが、情熱を無くすと魂はしわだらけになる…(後略)」
詩人・サミュエル・ウルマンによって書かれた「青春の詩。私の人生訓で、壁に貼って心折れそうなときの励みとしている。五〇の声を聞いてからは尚更胸にしみる。」
ところが、私のまわりには情熱を失わず…いや、さらに燃あがらせ、青春を謳歌されている魂ツルツルの先輩方が大勢いらつしやる。絵画や語学。グランドゴルフや歴史ウォーキング…活動の場も多種多様で、取材に行くと、いつも元気をいただいで帰ってくる。今回ご紹介する団体は、そんな中でもとびつきりエネルギーッシュ! 代表からして「情熱半端ない!」のである。

「要素も取り入れた音楽劇に挑戦する。劇のタイトルは、「歌の地図・堀内敬三とともに」。
劇作家で演出家の加藤直(かとう・ただし)氏が書き下ろしたオリジナル劇である。ちなみに加藤氏は、私の大好きな歌「サラマンドラ」の作詞者であらせられる。※NHK「みんなのうた」にて放送された尾藤いさおさんの歌



開かれた。そして今月、歌だけでなくお芝居

「シュベルトのセレナーデ」「遠き山に日は落ちて」「蒲田行進曲」など…誰もが知っている堀内敬三氏の訳詞にどんな物語がからみ繰り広げられるのか?
将来の目標は「青葉区からシニアのオペラ団を誕生させること」。その第一弾となる音楽劇。元氣と笑顔がもらえること間違いなしです。

青葉区から全国へ発信する音楽イベント

65歳からのアートライフ

新企画 第一弾 音楽劇

歌の地図 — 堀内敬三とともに

構成・演出 加藤直 誰と歌う? 誰に歌う?
音楽指導 竹沢嘉明 歌は旅人生の道連れ
酒井沃子 世界は今日

ピアノ: 末松茂敏・吉田幸央

●演奏曲(順不同)
シュベルトのセレナーデ
やさしき愛の歌
遠き山に日は落ちて
蒲田行進曲、蚤の歌、別れの曲
モーツァルトの子守唄
君を知るや南の国
春の日の花と輝く……他

2018年8月28日(火)
開演 15:00 入場料 ¥2,000 (全席自由)
青葉区民文化センター フィリアホール

「歌の地図〜堀内敬三とともに」の入場チケットを3組6名様に抽選でプレゼントいたします。7ページのFAX用紙に「歌の地図希望」と書いてお申し込み下さい。

【お申し込み・お問い合わせ】
オフィス・バルーン 青葉区新石川1-14-16
Tel: 045-902-7402 / Fax: 045-901-9914
http://home.s01.itscom.net/artlife/